

第12回国際メイラード反応シンポジウム

会 期 2015年9月1日(火)～4日(金)

会 場 東京大学伊藤国際学術研究センター (〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)

主 催 第12回国際メイラード反応シンポジウム組織委員会, 日本メイラード学会 (JMARS)

名誉委員長 谷口直之 (理化学研究所機関研究所教授)

組織委員長 宮澤陽夫 (東北大学未来科学技術共同研究センター教授)

開催概要

食品領域では、加工によってその付加価値を高めるために、菓子類、飲料、発酵・醸造食品などでこの反応の重要性が注目され、また生体では蛋白の AGEs 化が老化に伴って増加し、さらに生活習慣病、糖尿病合併症等の発症に伴って蓄積が促進することが報告されており、食品系、医薬系での研究が盛んになっています。本会は、わが国の健康長寿を支える産業の発展に学術面から大きく貢献しています。

Late Breaking Abstracts 募集：締切 2015 年 8 月 15 日

参加申込

■通常 (締切 8 月 24 日)

会員 60,000 円, 非会員 75,000 円, 会員学生 20,000 円, 非会員学生 35,000 円

当日受付

会員 70,000 円, 非会員 85,000 円, 会員学生 30,000 円, 非会員学生 45,000 円

開催概要：

基調講演

「Protein quality control by the unfolded protein response」 森和俊教授 (京都大学)

「Multi-omics approach for the elucidation of food functionality」 加藤久典教授 (東京大学)

医学・薬学系シンポジウム

Prof. Paul Thornalley (Warwick Medical School, UK)

Prof. Vincent Monnier (Case Western Reserve University, USA)

Prof. Mark E Cooper (Baker IDI Heart & Diabetes Institute, Australia)

谷口直之教授 (理化学研究所)

Prof. Ram H Nagaraj (University of Colorado, USA)

農学・食品系シンポジウム

Prof. Vincenzo Fogliano (Wageningen UR, Netherlands)

Prof. Varoujan Yaylayan (McGill University, Canada)

Prof. Monica Pischetsrieder (Universität Erlangen, Germany)

Prof. Thomas Henle (Technical University of Dresden, Germany)

問合せ先 第12回国際メイラード反応シンポジウム運営事務局

株式会社 ICS コンベンションデザイン内

TEL 03-3219-3541 FAX 03-3219-3577

E-mail : ismr12@ics-inc.co.jp ホームページ : <http://www.imars.umin.jp>